

長野 真理子 様

ご主人様のご逝去を知り、職員一同驚きと悲しみを深くしております。
ご遺族の皆さまのご心痛はいかがばかりと拝察いたします。

文憲さんには生前本当にお世話になりました。震災直後から原発事故災害による様々な被害を受ける福島の事を気にかけてくださり、2011年8月支援物資の置かれた講堂で、復興を祈る心を込めた力強いクラシックギターを聴かせていただきました。患者さまはじめ地域の方々、そして何より職員のところが癒されたのが昨日のこのようす。

その後も福島に足を運んでいただき、素敵な音楽を届けてくださいましたこと、改めて職員一同心より感謝申し上げます。

本来であれば、すぐにでもお伺いすべきところですが、略儀ながら書中をもちましてお悔やみを申し上げる次第でございます。

些少なながら心ばかりの福島の果実をお贈りいたします。御霊前にお供えいただければと存じます。

奥様におかれましては、お力をお落としのことと存じますが、どうぞお気を強くお持ちになりご自愛ください。

ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

平成29年9月5日

福島赤十字病院
院長 渡部 洋 一
職員 一 同